

コージンバイオ株式会社

—長年培ってきた製造技術と実績，ブランド力を武器に再生医療市場でさらなる飛躍を目指す，培地のパイオニア企業—

鴻池 徹

コージンバイオ株式会社 営業部 マーケティング担当

Konoike, Toru

Marketing Specialist Sales Division

Kohjin Bio Co., Ltd.

E-mail : konoike@kohjin-bio.co.jp

歴 史

- 1981年 コージン株式会社として東京都杉並区に資本金1,000万円にて会社設立し，動物血液・細菌検査用培地の製造を開始
- 1986年 埼玉県坂戸市浅羽野に工場を新設移転，組織培養培地の製造を開始
- 1991年 医薬品製造業許可取得，体外診断用医薬品の製造を開始
- 2001年 坂戸市千代田工業団地に新工場を設立
- 2005年 化粧品製造業許可取得
- 2006年 ISO13485取得
- 2009年 医療機器製造業許可取得，第三種医療機器製造販売業許可取得，医療機器修理業許可取得
- 2013年 エンバイオ株式会社を完全子会社化。
製品は国内の医薬品企業や飲料，化粧品メーカーに対して平板培地や充填試験用液体培地，

環境試験用各種寒天培地を日本薬局方製品中心に品質管理部門への販売を中心とした特化型の販売会社

2013年 GMP (Good Manufacturing Practice) に準拠した培地製造工場稼働 (図 1)

2016年 インフルエンザウイルス検査キット (体外診断用医薬品) を発売

医療や食品安全検査の現場において，微生物や細胞の培養に欠かせない“培地”をコージンバイオは30余年にわたり，さまざまな培地として製造し市場を牽引し化粧品や体外診断用医薬品の製品開発を手掛けながらも事業の根幹となる培地製造を主軸に成長を続けてまいりました (図 2)。

医薬品や化粧品メーカーではGMPに適合したもののづくりが求められており，そのなかで使用される培地についても同様にGMPに準拠した安全性と品質管理が強く求められています。培地は化粧品製造，再生医療，免疫治療，ワクチン製造，創薬原料等さまざまな分野で必要不可欠となっており，国内外に4つの関連会社をもち，医療機関，大学や公的研究機関のほか，化粧品，食品メーカー等の企業へ製品提供を行い，さらに数多くのOEM製造も行っております。

現在，FDA (米国食品医薬品局) が定めた品質基準であるcGMPに適合した工場新設を計画しております。工場完成後には創薬の治験用培地製造にも着手し，医薬品分野においても使用可能な製品を提供してゆく予定です。



図 1 本社工場